

令和7年度第一回古賀市公共施設マネジメント推進審議会 議事要旨

【開催概要】

開催日時：令和7年8月29日(金) 19:00～20:30

開催場所：古賀市役所第2庁舎 2階 中会議室

出席者：

(委員)

水田委員、松尾委員、辻委員、松本委員、吉永委員、檜山委員、弓削委員、江藤委員

(事務局)

田辺市長、管財課長、管財係長、管財係員

※市長は公務の都合により、諮問後途中退席。

【議事・要旨】

1. 開会	傍聴人の入場
2. 市長挨拶	
3. 委嘱書の交付 諮問	事務局：説明（任期は令和7年8月1日から2年間）
4. 正副会長の選出	事務局の推薦により会長に水田洋司委員、副会長に松尾栄治委員を選出
5. 計画等の説明	事務局：資料2～8に基づき説明
6. 質問及び意見交換	委員からの意見： ●委員発言 ○事務局回答 〈委員からの質問事項〉 ●この審議会の対象は公共施設のうち、建築物のみが対象か。橋梁や上下水道の函渠は対象外となるのか。 ○インフラ部分は対象外である。 ●平成29年から令和12年までの14年間で計画期間となっており、現在9年が過ぎたところであるが、二割削減の到達率はどの程度か。 ○現在建替えている施設があるが、機能継続の必要性から建物を壊す前に新設しているため、旧建物と新建物が並列で存在している状態であり、同じく面積も二重に計上されている。よって、到達率にそれほど進捗がないように見える。 ●当初の計画、予定していた進捗からの大幅な遅延はないか。 ○アクションプランに記載（廃止を検討する建物）しているとおり、現状では特に大きく遅れたりしてはいない。 ●計画は改訂されており、改訂時に新たな考え方や規制、取り組みが盛り込まれていると思う。それに準拠することによって、進捗に更に負荷がかかってしまっていることはないか。 ○進捗にそれほど関係ない。しかし今回、市の発展などに欠かせない新規整備を一定

の条件下で許容する基本方針を新たに盛り込んでおり、それは 2 割削減という目標と相反する。

●審議のポイントを少し明確にしてもらいたい。

○計画とアクションプランの改訂箇所について、補足説明。

●各施設の今後 10 年間の方向性の表の年限については残してはどうか。

○建設年度からの経過年数で改修の周期は決まっており、表に掲載されている情報は「機能」や「建物」の方向性など、この表からでしか読み取れない新しい情報ではない。よって必ずしも必要ではないと考えるが、参考資料で残す方向で検討する。

●施設の当初の寿命を延伸化させ、長寿命化で 75 年にするのは、コスト増ではないか。また、安全性は担保されるのか。

●前提として、建て替えるお金がないので長寿命化という概念がある。しかし維持補修をしっかりと実施するという前提であり、実が伴わなくてはならない。

●適切な修繕箇所の特定、修繕方法の選定、そしてしっかりとした見識及び技術を有している業者選定が重要である。

●修繕方法等について、附帯事項をどれだけ付けられるかが肝要。

●今後維持管理する際に本当に必要な箇所の安全を確保するためにするのか、見た目まで綺麗にやるのかで金額的に大きく違ってくる。安全性だけ保とうとすれば、ひび割れたところ、浮いているところだけ補修していくので、見た目は継ぎ接ぎで格好が悪い。しかし見た目までやるとしたら安全性に影響の無いところまでやり変えなくてはいけないので、コストが一気に跳ね上がる。その方針もしっかり決めた方がよい。

○重要施設や教育施設については、個別計画があり、専門家の意見を基に計画が策定されている。方針については、各所管課が検討するところである。なお、現計画においても改修等の周期の考え方を載せており、15 年目で屋上防水や外壁等の予防的修繕を実施し、30 年目で大規模改修、45 年目で長寿命化か、60 年使用か、廃止かの方針を決定することとしている。それぞれの施設の実情に併せて方針決定をすることとなる。

●前回、令和 4 年の計画から今回の改訂に至るこの数年間の中で、市の方針が大きく変更したという認識である。例えば、市民体育館の取り扱いが変わっている。そういった市の方針変更について、個別に説明がほしい。

○承った。

●大型台風などが発生した際、市内の公共施設が避難所として開設されるが、最近発生した大雨災害など、予想ができないような形の自然災害が頻繁に起きてきている。もしかしたら公共施設だけで考えるのは難しいのかもしれないが、公共施設に期待するその避難所としての役割を踏まえた上で、改修や保守についてどう考えるのか、

	何かしらの形で文言として計画に入れるべきである。 ●サンコスモは国道 3 号線よりも低い位置あり、水に浸かる。高齢者施設などは大 体川や崖のそばにあり、災害時にお年寄りが犠牲になっている。避難所機能として耐 震化もされているが、今度は水害に対しての備えについても考えなければならない のではないかな。 ●前回の審議会では、その当時耐震性が問題になっていたこともあり、委員の関心が 高かった。近年はこれだけ災害が起こっているので、「防災」という視点が新たに出 てきて、「耐震+防災」となってくると考える。耐震については全施設耐震対応済とい うことになっているのでこれはもう目的を達成している。今度は防災という項目を 新たに設けるのか、考慮すべきという文言を附帯事項として入れるのか。この辺が一 つのポイントだと思っている。
7. その他	本会議の議事録の確認については、会長に一任することで合意。 審議会終了